

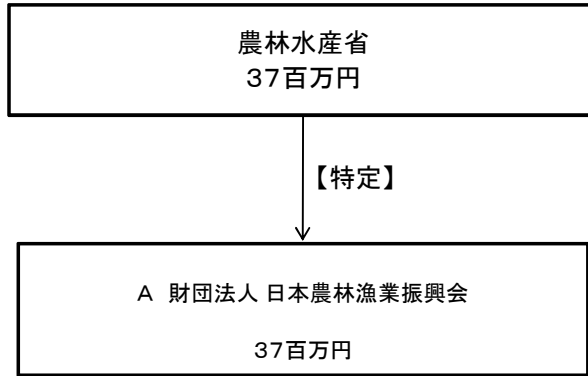
平成23年行政事業レビューシート

(農林水産省)

事業名	農林水産顕彰等普及費補助金		担当部局庁	大臣官房		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和53年度～		担当課室	総務課		課長 石井 俊道		
会計区分	一般会計		施策名	-				
根拠法令 (具体的な 条項も記載)	-		関係する計画、 通知等	農林水産祭開催要綱 (昭和37年6月12日 農林事務次官依命通達)				
事業の目的 (目指す姿を 簡潔に。3行程 度以内)	皇室から下賜された天皇杯(農産、園芸、畜産、蚕糸・地域特産、林産、水産及びむらづくりの7部門)を優れた農林水産業者に授与することにより、農林水産業者の技術改善、経営発展の意欲の高揚及び農山漁村のむらづくりの全国的な推進を助長するとともに、受賞者の技術・経営の紹介、各都道府県の農林水産物の紹介等を通じた啓発普及を行うことにより、国民の農林水産業に対する理解と認識を深める。							
事業概要 (5行程度以 内。別添可)	1 事業内容 全国各地で開催される農林水産関係の品評会、コンクール等で農林水産大臣賞を受賞した者の中から、特に優秀な者を選賞し、天皇杯等を授与するとともに、受賞者の業績を取りまとめ、その技術・経営の普及を図る。また、農林水産業展示会を開催し、天皇杯等受賞者の披露、活力ある農林水産業・農山漁村の紹介、特色ある農林水産物の展示・即売等を行う。 2 補助率 定額							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・ 執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
		当初予算	39	37	37	36	35	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
	計	39	37	37	36			
	執行額	39	37	37				
執行率(%)	100	100	100					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (23年度)	
	消費者の農林水産業に対する認識の程度 (「実りのフェスティバル」来場者アンケートにお いて、初めて来場した者が「食に対する意識が 高まった」又は「新しい技術や品種に興味が高 まった」と回答した割合)		成果実績	%	-	53.3%	56.5%	65%
			達成度	%	-	82.0%	86.9%	
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	① 農林水産祭参加行事数(全国で行われる 品評会、コンクール等のうち、農林水産祭表 彰事業に参加した行事の数)		活動実績 (当初見込 み)	306行事 (310行事)	309行事 (310行事)	305行事 (310行事)	- (310行事)	
	② 「実りのフェスティバル」入場者数		活動実績 (当初見込 み)	45,000人	42,000人	46,000人 (45,000人)	- (45,000人)	
単位当たり コスト	① 農林水産祭参加表彰行事1行事当たり 国庫補助金の額 (50千円/行事)		算出根拠	H22年度農林水産普及啓発事業実施費及び優秀農林水産業者表彰 事業費(国庫補助金)15,255千円÷H22年度農林水産祭参加表彰行 事数305行事≒ 50,016円/行事				
	② 「実りのフェスティバル」来場者1人当たり 国庫補助金の額 (465円/人)		算出根拠	H22年度農林水産業展示会等開催費(国庫補助金)21,377千円÷H22 年度「実りのフェスティバル」入場者数46,000人≒465円/人				
平成 23 ・ 24 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	農林水産普及啓発事業実施費	12	12	会場借料、展示設営費の見直しによる減				
	優秀農林水産業者表彰事業費	3	3					
	農林水産業展示会等開催費	21	20					
	計	36	35					

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的・予算の状況	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	—	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の流れ、費目・使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	—	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績、成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	
	○	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	○	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	—	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点検結果		<p>・本事業は、全国各地の年間300を超える農林水産業関係の品評会、コンクール等(約12万点)の集約点として最高の栄誉たる天皇杯の授与を行うものであり、優秀な農林水産事業者の顕彰・披露を通じた農林水産業者の技術改善等を図るために必要な事業であるため、広く農林水産業者のニーズがあり、国が実施すべき優先度の高い事業である。</p> <p>・本事業は、農林水産省と天皇杯を下賜された(財)日本農林漁業振興会との共催により事業を実施するものであり、共催者として支出先における使途及び事業実施現場の状況等を常に把握しながら事業を行っている。また、補助金の経費の内訳は、補助事業実績報告の際、経理帳簿の写しで確認を行っており、補助金の使途は、事業目的に即し、真に必要なものに限定されている。</p> <p>・農林水産業展示会等開催費(「実りのフェスティバル」)については、16年度以降①会期の短縮(3日→2日)、②会場面積の縮小、③会場設営の一般競争入札の導入を行うとともに、22年度は、宣伝用ダイレクトメールの廃止によるコストの削減を図ってきたところである。</p> <p>・農林水産祭参加行事数は、310行事の見込みに対し、実績は305～309行事となっており、見込みにほぼ見合ったものとなっている。また、「実りのフェスティバル」入場者数についても、45,000人の見込みに対し実績は42,000人～46,000人となっており、見込みにほぼ見合ったものとなっている。</p> <p>・22年度「実りのフェスティバル」来場者アンケート(回答者数779名)において、初めて来場したと回答した者(292名)の57%が「食に対する意識が高まった」又は「新しい技術や品種に興味を湧いた」と回答しており、消費者の農林水産業に対する認識を深める上で一定の効果を発揮(目標とする65%の概ね9割を達成)している。</p>	
予算監視・効率化チームの所見			
一部改善		本事業は、展示設営費については、コストの更なる削減が可能と考えられることから、「コストの削減」を行うべきである。	
上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)			
農林水産業展示会等開催費について、会場借料、展示設営費の「コスト削減」を行うことにより減額。			
補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)			

※平成22年度実績を記入



- (1) 優秀農林水産業者の選考審査及び業績普及
- (2) 優秀農林水産業者の顕彰(天皇杯等の授与)
- (3) 農林水産啓発事業(「実りのフェスティバル」の実施)

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を
行っているか
について補足
する) (単
位: 百万円)

A.(財)日本農林漁業振興会			E.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
会場等借料・ 会場設営費	「実りのフェスティバル」会場借料、展 示設営費等	24			
委員等旅費	農林水産祭中央審査委員会出席旅 費、現地調査旅費等	6			
印刷製本費	「農林水産祭受賞者の業績」(冊子) 印刷等	3			
賞状、副賞購 入費	賞状用紙、天皇杯レプリカ等	2			
諸謝金	農林水産祭中央審査委員謝金	1			
通信運搬費	切手、宅配便等	0.5			
事務機器借 料	コピー、パソコンリース	0.2			
消耗品費等	出展者バッジ	0.1			
会議費	お茶	0.1			
計		37	計		0
B.			F.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
C.			G.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0
D.			H.		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
計		0	計		0

費目・使途
 (「資金の流れ」
 においてブロックごとに最大の
 金額が支出されている者につ
 いて記載する。費
 目と使途の双方
 で実情が分かる
 ように記載)

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(財)日本農林漁業振興会	・農林水産業者の優れた技術・経営及び農産漁村におけるむらづくりの事例の審査、業績の発表及び業績普及等	37	—	—
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					